

架け橋

～広域紋別病院だより～



目次

1. 表紙
2. 企業長挨拶
3. 診療看護師紹介（診療部）
4. 部署紹介・新人挨拶（看護部）
5. 部署紹介・新人挨拶（医療技術部）
6. 令和6年度 院外活動報告
7. 健康レシピ（栄養科）
8. クイック健診・肺がんCT検診とお手軽脳ドック
9. 来院前A I 問診のお知らせ・職員の募集について編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

企業長挨拶



この度、西紋地域 5 市町村の自治体が共同運営する広域紋別病院の企業長を拝命しました。当院の開設及び発展に尽力された前企業長の宮川良一市長には、地域住民の方々に代わりこの場を借りて心より謝意を表します。

私はこれまで都内の大学病院等で肝臓外科医として多数いるスタッフや整った医療設備の下、担当する患者の治療に専念し、またそれが当たり前の医療環境で働いてきました。一方で我が国においては医師の偏在と高齢化により地域医療は崩壊の危機に直面していますが、このオホーツク西紋地域においても例外ではありません。医療や介護に携わる人材の確保が大変厳しい状況下で地域医療を如何にして守るか、医師不足をどう克服するかという喫緊の課題を抱えています。このような状況下で地域医療に貢献できる機会をいただいたことに感謝するとともに責任の重さを痛感している次第です。

以上の現状を踏まえ、企業長としての私に課せられた責務は隣接する地域や保健・福祉等の関係機関との医療連携の推進、病院スタッフの招聘などを通じて地域の基幹病院としての役割を果たせるよう組織運営の基盤を作り、曾々端院長以下、病院全職員の業務を支えてゆく体制を構築することと理解しています。住民の生命と健康を守るため、オホーツク西紋地区の地域医療における最後の砦としての役割を全うすべく、職員一丸となってさらなる向上を目指して努力してゆきたいと考えていますので、引き続き地域住民皆様のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

広域紋別病院企業長 緑川 泰

診療看護師紹介（診療部）



2025 年 4 月より診療部に配属となりました
診療看護師（NP）の中村厚子です。

私は長野県生まれで標高 2,000～3,000m 級の北アルプスの山あいで育ちました。母が北海道生まれということもあり、幼少のころから何度か北海道へ来ることがありましたが紋別は初めてです。

紋別はとてもきれいな街並みで、少し移動すれば海が見える場所が多く、特に病院からの景色に魅了されました。私は散歩やハイキング、ドライブや温泉巡りが好きで、これから美しい紋別や周辺を散策することや、美味しい食べ物屋巡りができることを楽しみにしています。

私は以前より診療看護師（NP）として、医療過疎地域で貢献したいと考えておりました。当院は地域医療連携推進法人オホーツク西紋医療ケアネットワークの参加病院であり、今後このネットワークを通じて、診療看護師（NP）が医療過疎問題に貢献できるシステムを構築する計画があると聞き、自身が目指す、理想とする医療に携われるのではないかと考え就職を決めました。

診療看護師（NP）としての経験は 4 年で、これまで 2 次救急病院の救急外来で医師や看護師らと協働し、病院のリソースナース室長として看護管理や看護教育に携わっておりました。チーム医療では、NST、褥瘡チーム活動、RST（呼吸ケアサポートチーム）の立ち上げ、運営に関わり、また、日本 DMAT 隊員として災害派遣の経験や、院内や地域関係機関との連携訓練の企画、運営などに携わってきました。

当院は災害拠点病院であり、DMAT 指定医療機関でもあることから、皆さまと一緒に病院や地域の災害体制の構築にも寄与できればと考えております。診療看護師（NP）の仕事と言えば、医師のタスクシフト・タスクシェアのイメージが前面に出がちですが、私は医師や看護師の負担軽減をできるよう自分の最善を尽くし、第一に患者さんやご家族が「その人らしく」過ごせるような医療を、多職種連携をして提供できるようにしたいと考えております。診療部での仕事は初めてですので、ご指導いただきながら少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

部署紹介・新人看護師挨拶（3階病棟）



当該病棟は、一般内科、内視鏡検査、産婦人科の混合病棟です。私たち看護師は、入院された患者さんが、苦痛なく入院生活を送ることができるよう寄り添い、安心・安全な療養環境を提供できることを心がけています。

退院を迎えるにあたっては、医師、看護師をはじめ、理学療法士、作業療法士、栄養士、保健医療連携室、地域サービスと連携し、“その人らしい生活”を第一に考え、退院支援させていただきます。



3階病棟看護師長 伊藤

☆新人看護師より挨拶☆

4月から3階病棟に配属になりました。

看護学校で学習してきましたが、実際に臨床で働き始めると、わからないことが多くあり、まだまだ学習が足りないことを実感しました。

少しでも早く仕事を覚えられるようコツコツと努力を続けていきたいと思います。そして、専門的な知識を持つ看護師となった自覚を持ち、患者様に安全な看護を行っていききたいと思います。

部署紹介（4階病棟）

4階病棟は、小児科と地域包括ケアを担当している病棟で、0歳から90歳以上の患者様まで、幅広い年齢層の方が入院されています。

病棟のテーマカラーは「芝桜のピンク」で、壁はもちろんのこと椅子やテーブル、小物までピンクで統一されています。

小児科は、喘息や肺炎などの呼吸器系の病気、胃腸炎など消化器系の病気、痙攣等の病気のお子さんが入院しています。

小児科に入院される場合、小さいお子さんはご家族の付き添いのもとで療養生活を送って頂いています。

お子さんが治療や処置を怖がらないように配慮して、少しでも快適に安心して療養生活が送れるよう、入院しているお子さんだけでなく、ご家族へのケアも提供していきたいと思っております。

また、地域包括ケア病床は、急性期治療を終え、病状が安定した患者様や身体的な不安・運動能力に不安のある患者様に対して、退院後も安心して在宅療養を行っていただけるよう在宅復帰に向けた支援・調整を行う病床です。

また、今までは遠方で受けていた眼科の手術も当院で受けられるようになりました。安心して手術が受けられるようにケアを行っています。

病棟では、毎週水曜日にナースアシスタントが中心になり、折り紙や塗り絵、ゲームや体操などのレクリエーションを行っています。

紋別市外の病院などで治療を受け、リハビリなどを地元で受けるために入院してくる方も多くいらっしゃいます。

私たちは、医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・ソーシャルワーカーなどの多職種や、訪問看護・介護支援専門員などと連携し、医療と暮らしの両面をサポートしながら、患者さんやご家族が安心して地域で生活できるように、看護を提供していきたいと思っています。



4階病棟看護師長 斎藤

部署紹介・新人看護師挨拶（5階病棟）

5階病棟は、外科、整形外科、消化器内科の混合病棟で、主に手術を目的とした患者さんが入院されています。

病棟は、太陽をイメージした「黄色」を基調にコーディネートされ気持ちを明るくし、心をリラックスさせてくれます。スタッフもイメージカラーのように明るく笑顔で患者さんと会話をしています。

また、紋別市街を一望できるデイルームは、患者さんにも好評です。



外科では消化器系の手術が主に行われています。患者さんが安心して手術に向かうことができるよう、丁寧な説明と術後は合併症の早期発見に努め、患者さんの苦痛やストレスが少なく早期離床、回復できるようにスタッフ一丸となり取り組んでいます。消化器内科では、腹痛や吐き気など消化器症状がある患者さんが入院しています。



外科と消化器内科は「消化器チーム」として、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーで多職種カンファレンスを開催し、ひとり一人の患者さんにチームで関わり、患者さんに対してより良い医療・看護の提供を実践しています。

整形外科では腰部圧迫骨折や大腿骨頸部骨折等の手術が行われています。手術後の患者さんに対し、医師、看護師、理学療法士、ソーシャルワーカーとの多職種カンファレンスを開催し、受傷前の日常の運動機能に近づき、自宅や施設へ退院ができるよう、チーム医療で患者さんをサポートしています。

5階病棟看護師長 大川

☆新人看護師より挨拶☆

4月から看護師として働き始め1か月が経ちました。

まだわからないことや慣れないことが沢山ありますが、先輩看護師に教えていただきながら様々な経験をさせて頂いております。また、患者様との関わりを通して看護を行う喜びを感じています。

これから看護師として患者様が安心して療養できるよう知識と技術を磨き続けていきたいと思っております。

部署紹介（外来）

外来は、出張科を含めて17の診療科の外来診療をおこなっています。入院在院日数の短縮に伴い、外来の検査・治療・手術・指導・相談が増えており、専門知識や技術が求められています。医師・看護師・ナースアシスタント・医師事務補助者・医療事務員が協働し、患者さんが安心して通院治療を受けられるよう日々励んでいます。



当外来は在宅療養支援の充実を目指し、「患者がその人らしく在宅療養を送ることが出来る」ことを目標に、病状管理や治療継続支援、在宅サービス利用支援、意思決定支援など、病棟・地域間の連携の仕組みを整えながら活動しています。

患者さんが病気と上手に付き合いながら生活できるように、心不全看護指導・腎臓外来・フットケア外来・在宅療養指導を行っています。

化学療法室では、様々な症状のある患者さんが安心して通院治療を続けられるように、日常の過ごし方など話を聞きながら治療・相談をおこなっています。



中央処置室では、スムーズな対応『目配り・気配り・心配り』を意識しながら各科外来から依頼された検査・注射・処置・観察などを行っています。

内視鏡室では、患者さんが安心して検査を受けることができるよう検査の説明・観察・処置の介助をおこなっています。



外来は辛い症状がある方や病気を抱えながら生活している方に関わるため、私たち看護師が少しでも苦痛が和らげられるように、思いやりの気持ちを持って看護を行うことを心がけています。

外来看護師長 田中

部署紹介（手術室）

手術室は3階フロアに位置し、3室あります。
主に外科、整形外科、産婦人科、眼科の手術を行っています。



手術室では、全身麻酔で手術を受ける患者様に対して、麻酔科医による術前訪問・診察、手術室看護師による術前・術後訪問を行っています。

訪問の際には、心配事やご希望があれば是非相談してください。

患者様が少しでも不安や緊張の少ない状況で手術が受けられるよう、医師をはじめ多職種と連携しチームで手術のサポートをしていきます。



手術室看護師長 池田

部署紹介（人工透析室）



慢性腎炎やネフローゼ、糖尿病などで透析治療が必要になることがあります。血液透析は、腎臓の代わりに不要な水分や毒素などを取り除く治療で、週3回、1回4時間程度の治療が必要です。治療を受けながらの生活が患者さんにとって充実できるよう「患者さんの生活を観て、患者さんの声を聴いて、患者さんに寄り添い、気持ちを知って患者さんとともに考える看護」を心がけております。

当院の透析室では、透析器17台を設置し、紋別市内はもちろん興部町から滝上町の広域にわたり患者さんにご利用いただいております。

医師、臨床工学技士、看護師、ナースアシスタントの透析チームで、患者さんが安心して透析医療が受けられるように努めております。適した透析ができるよう、少しでも快適に透析を受けられるように患者さんの生活を考えながら透析医療を提供させていただいております。また、患者さんが毎日元気に過ごすことができるよう栄養やシャント、足病変の状態を透析チームと管理栄養士や検査技師も含めて定期的にカンファレンスをしております。



＜臨床工学技士と看護師 カンファレンス＞

住み慣れた地域で治療を続けるために院外の関係する方やケアマネージャーとの連携もしております。現在、患者さんが住み慣れた地域で透析医療を継続的に受けられるように市内の透析施設と連携しております。患者さんの理解を得ながら透析生活が充実するよう取り組んでいきたいと思っております。

定期採血時は、食事や栄養状態を管理栄養士とともに指導しており、献立相談や栄養指導のリクエストに応えることもあります。フットケアは、日常的に実施し、患者さんご自身が足を大事にケアできるように取り組んでいます。



＜管理栄養士による栄養指導＞

人工透析室看護師長 須藤

部署紹介・新人放射線技師挨拶（放射線科）



放射線科は診療放射線技師 5 名と補助員 1 名で構成され、円滑で標準的なチーム医療の実施を目指し、医師や看護師、他職種と協力して業務に従事しています。各診療科へ有用な画像情報を提供できるように、知識や技術の向上のため日々研鑽して

います。

今年 4 月から新任の診療放射線技師を 1 名迎えました。昨年、学生時の実習を当科で受けていたこともあり、馴染んでくれているようです。一人前の診療放射線技師になれるよう、当科一丸となってサポートしていきます。

放射線科の取り組みについては、当院ホームページをご覧ください。

☆新人放射線技師より挨拶☆

この度放射線科診療放射線技師として入職しました。

生まれも育ちも紋別市で、大学は札幌市の大学に進学しておりました。そのため紋別市に戻ってきてとても懐かしく感じております。

私は診療放射線技師として 1 年目の為、拙いところが多いですが先輩方から知識や技術を教わりながら、信頼される診療放射線技師を目指していきたいと考えております。

また慣れ親しんだこの紋別市で、より良い医療を提供できるよう精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

部署紹介・新人臨床検査技師挨拶（臨床検査科）



臨床検査科では、患者さんの病気の状態を調べたり、病気の早期発見、治療方法の判断や治療効果の判定のために種々の検査機器を用いて測定しています。

臨床検査は検体検査と生理検査の二種類に分けられています。検体検査は患者さんから採取した検体（血液、尿、便など）をもとに検査します。生理検査は患者さんの身体を直接検査します。

臨床検査科は臨床検査技師と視能訓練士で構成されており、患者さん一人一人の病気の診断、治療、経過観察に役立つ検査を提供できるように日々努力しています。

臨床検査科の取組については、当院ホームページをご覧ください。

☆新人臨床検査技師より挨拶☆

入職して1ヶ月が経ち、少しずつ業務にも慣れてきました。

できることも少しずつ増えてきた一方で、まだまだわからないことも多く不安を感じる場面もありますが、先輩技師の皆さんから温かくご指導いただきながら、日々前向きに取り組んでいます。

これからも日々の学びを大切に、不安なことやわからないことを一つひとつ着実に克服し、自信を持って業務に臨めるよう成長していきたいと思います。

部署紹介・新人管理栄養士挨拶（栄養科）

食事は健康の維持、治療の一環としてとても大切な役割を果たしています。

栄養科では、医師の指示に基づき、患者さん一人一人の病態や栄養状態に合わせて栄養管理と指導をおこなっています。

栄養科の取組については、当院ホームページをご覧ください。

☆新人管理栄養士より挨拶☆

この度名寄市立大学を卒業し、4月1日より広域紋別病院に入職いたしました。紋別市で生まれ、美幌町で育ちました。

お世話になったオホーツクという場所で働くことができることを嬉しく思います。食事を楽しみながら食生活を改善できるよう患者様をサポートしていきたいと思っています。

まだ不安なことや不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、広域紋別病院の一員として自覚を持ち、精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 院外活動報告

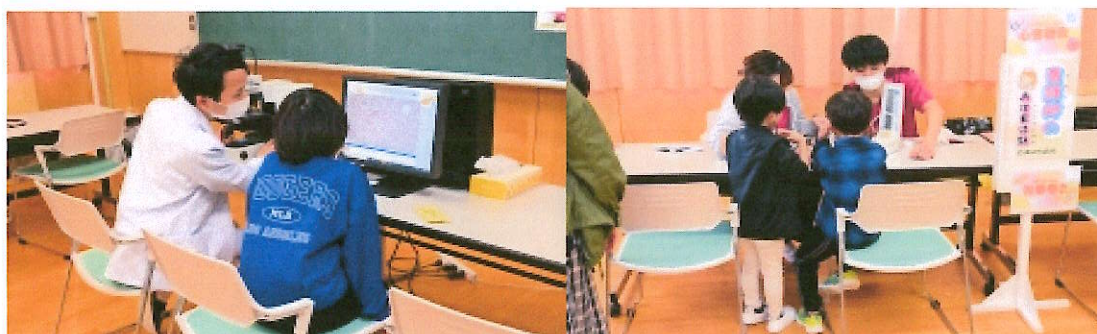
<ちびっ子ワークフェスへの参加>

令和6年10月20日（日）に行われたちびっこワークフェスに当院から看護部・臨床検査科・周産期医療センターの職員が参加しました。

看護部では、心音聴診・血圧測定・包帯巻き・ナース服試着などを体験してもらい、子どもたちは聴診器をあてて楽しそうに音を聴いていました。

臨床検査科では、血液細胞を顕微鏡で観察を体験。赤血球と血小板の帽子も用意し、待ち時間は写真撮影を行っていました。アニメの影響で血液細胞に興味を持っている子が多く、保護者と一緒に熱心に説明を聞いていました。

周産期医療センターでは、沐浴からミルクあげまでの一連の流れが体験でき、「将来助産師さんになりたい」と言ってくれる子どももいました。病院ブースの来場者数は約90名であり、小学生低学年～中学年が多く幼児も複数来場し大変な賑わいとなりました。また、参加者アンケート結果では、やってみたいと思ったオシゴトで看護師は回答数1位を獲得するなど子どもたちに興味を持ってもらう良いきっかけとなりました。



＜令和6年度第2回健康講演会

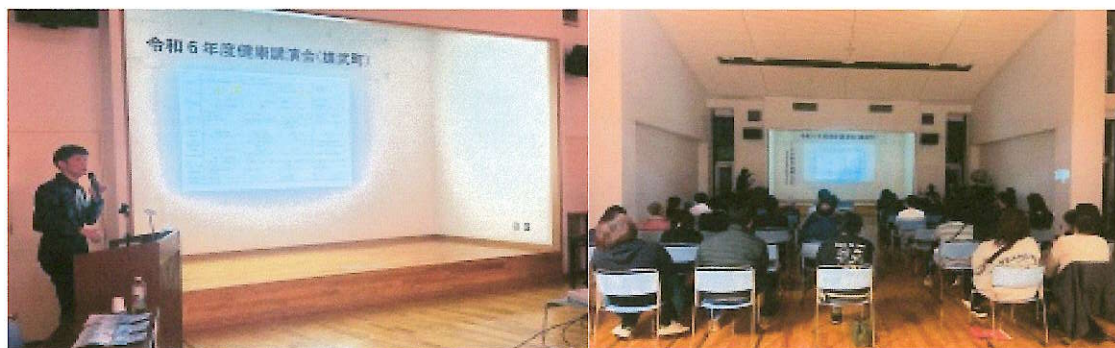
「こころの病気の理解と対応」＞

令和6年11月21日(木)18:30～19:30、第2回健康講演会「こころの病気の理解と対応」@雄武町地域交流センター(道の駅おうむ)を精神科塚本が担当させていただきました。

雄武町民の皆さまだけでなく、地域の保健・福祉の援助職の皆さま、雄武町外からも多数参加していただき、どうもありがとうございました。

雄武町での講演は12年ぶりとなりました。テーマとしては認知症以外の内容を多く取り上げましたが、精神障害の成り立ち、精神機能の評価も踏まえつつ、心の健康を保つために役に立つ考え方や情報を、できるかぎりわかりやすく工夫して解説しました。新作の動き(アニメーション)のあるスライドも多く、参加していただいた皆さまにとって参考になったのであれば幸いです。

当院は認知症疾患医療センター(連携型)の指定を受けており、地域連携を支える人材育成もその役割として挙げられています。認知症に関連せずとも、講演をご希望される場合は当院ホームページをご参照のうえ、事務部医事課までご相談ください。



ベトナム風お好み焼き

アスパラとキャベツの バインセオ

春が旬のアスパラガス！緑黄色野菜の一つで、アスパラギン酸やビタミン類が含まれています。アスパラギン酸はアミノ酸の一種で疲労回復が期待できます。



材料 [2人分]

～生地～

- 米粉：60g
- ターメリック：小さじ1/2
- 塩：小さじ1/4
- 水：200ml
- サラダ油：2g

～具材～

- アスパラガス：75g(2本)
- キャベツ：25g(1/4枚)
- もやし：60g
- 豚肉切り落とし：60g
- むき海老：50g
- ごま油：4g
- 塩・こしょう：適量

～タレ～

- にんにく(チューブ可)：1g(1cm)
- しょうゆ：大さじ2
- レモン汁：大さじ1と1/2
- 砂糖：小さじ2

レタスで巻いて食べてもおいしい！

作り方

1. ボウルにサラダ油以外の生地の材料を入れ混ぜ合わせる。
2. キャベツは4cm角、アスパラガスは1cm幅のななめ切り、豚肉は一口大に切る。
3. フライパンを熱し、ごま油を引き、具材をすべて入れて炒める。豚肉に火が通ったら、塩・こしょうを加えて味を整える。
4. 具材を一度取り出し、皿に移しておく。フライパンはキッチンペーパーで軽く拭いておく。
5. フライパンにサラダ油を引き、生地を流し入れる。
6. 生地の上に具材を乗せて、蓋をして2分ほど蒸す。
7. 生地に火が通ったら、生地を具材に被すようにたたんで、皿に移す。
8. タレの材料をすべて混ぜ合わせたら完成！

クイック健診のお知らせ

パンフレットは1階ロビーにも
ございます！ご自由にお取り下
さい！

検査の種類は8項目あります

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| A 貧血（貧血の有無、程度がわかります） | B 肝機能（肝臓の働きがわかります） |
| C 腎機能（腎臓の働きがわかります） | D 脂質（コレステロールのバランスがわかります） |
| E 血糖（血糖値や血糖状態がわかります） | F 肺機能（肺年齢がわかります） |
| G ビロリ菌（ビロリ菌感染の有無を調べます） | H エヒノコックス抗体検査（エヒノコックス感染の有無を調べます） |

健診の流れ



各検査「500円（ビロリ菌検査1,000円、エヒノコックス抗体検査2,000円）」となっており、最低1種類、最大8種類の検査を受診される方のご希望でお選びすることができます！

- ※ 実施時間 午前9時～午後5時
- ※ 18才以上が対象です



お問合せ先 広域紋別病院 0158-24-3111

「肺がんCT検診」と「お手軽脳ドック」

1. 肺がん検診（低線量CT検査）

対象：年齢制限なし 料金：6,105円

一般の胸部レントゲン撮影では発見しにくい位置の病変等にも効果的で、通常より低い放射線量に抑えた低被曝のCT撮影なので安心して受けられます。

2. お手軽脳ドック（MRI検査+ABI検査）

対象：年齢制限なし 料金：12,210円

脳梗塞や脳出血の原因となる脳血管の状態や、動脈硬化や高血圧などと関係する身体の血管状態を調べることで予防に役立ち、認知症の兆候を知ることにもつながります。

※提携先医療機関に読影を依頼しているため、診断結果につきましては2週間程度で郵送されます。

画像診断は提携している
放射線専門医が診断します！！



◎検診に関するお問い合わせ、予約申込は広域紋別病院まで

予約専用電話 0158-28-6610（受付時間 9:00～17:00）

紋別市民は一部助成が受けられます！

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| ①肺がん検診 | 対象：40才以上 | 助成金額：3,000円 |
| ②脳ドック | 対象：35才以上 | 助成金額：料金の半額助成 |

※脳ドックの一部助成対象は3年に1回となっています。

※助成を希望する場合は事前申込みが必要です。申込み・問い合わせ先：保健センター（TEL24-3355）

来院前A！問診のお知らせ

対象の方は次のとおりとなります

- ・発熱や呼吸器症状のため受診する場合
- ・当院に初めて受診する場合
- ・今までとちがう症状で受診する場合
- ・かかりつけ医等からの紹介状をお持ちになり受診する場合

詳細はホームページをご確認ください。

(スマートフォン・タブレットの方は右側QRコードからアクセスできます)



職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・薬剤師・介護福祉士などの専門職のほか、日勤帯や夜勤帯で看護業務を補助していただくアシスタントや介護福祉士等を随時募集しています。

募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でのお問い合わせは、下記までお願いします。

○お問い合わせ先
広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel: 0158-24-3111
病院ホームページ: QRコード



編集：広域紋別病院広報委員会
発行：広域紋別病院
〒094-8709
紋別市落石町1丁目3番37号
TEL・FAX 0158-24-3111
病院ホームページ: QRコード



編集後記

広報誌「架け橋」をお読みいただきありがとうございます。
今年度より広報誌の発行は年2回(6月・12月)に変更させていただきます。
今後は、病院ホームページやInstagramで院内の情報を発信いたしますので、そちらもご覧ください。